報を以て左の如く公布された 関係に関する語がは十一日底(東京正路)特別経路召集画

召集スル帝婦

9十日塗に最後の大陆に到着

村町の村井學生景において家 傘下に関する電十日市ヶ谷本

策、日本家居によって配らわ 風俗に從ひ教館風の延妨も断 回のに從ひ教館風の延妨も断

によらんとするもので即夜全 を状めて生活、屯田兵的方針 市に残るものはそれん、職業

置く夢 加を売 める こととな

教職『日本福音自治教館』の 本元大尉から避炎された、新

いふにあり、一

我は事七月二十三日ヲ以テ ・各國務大臣嗣署 ・昭和十二年六月十日

特別議會召集並會期に關する 詔書公布さる

又前書の終期十一|ヤ外相フイノ氏は一九三五年六、頭赤、大菱各原粧「ペスからの報道によれげ、ボリ、県、佐世保倉顧「ペスからの報道によれげ、ボリ、二、第二、第四略

バスからの報道によれば、ボリビ 【ヴェノスアイレス十日同盟】ラ

又戦端の危機 ボ、パ兩國間に

本營離脱の士官が

教團を樹立

募金はせず屯田兵的方針で

我國情に適した布教を行ふ

を、育米最大の園景級雲たるチャーが、時中文級意面の問題について 質能するところとなつたと言はれ一後十時半鬼京駅部列車で西下した

教育 は有傷の人材を作る

傾眠するところとなつたと言はれ関する公開御説がボリビヤ政府の

相ステヤニッチ腺士がアスンショる、右葉明は数日前バラグワイ外

パラグワイ政府に公使を記

海軍大演習を擧行

本年度海軍演習につき左の如く公

武が舉行せられる原定である。前晋部隊の観兵式及び至中分の月一日には名古屋方面におい

てるるので、木舟は資本家をして敷で竜原所の開歌をの信歌順の輸立を促誕せしめる方針を探ることとし、木府は世界る範疇には明年度豫算に計上することとなつてある。一方に於て時代の麒麟に蓋を職芸の意識は急速を要うる時期にお出等感検の倍加計・輩を樹立、近く開催される中等教育調査委員會に諮問して具體家を得次を提定、愈よ十三年度から十ケ年計・造を以つて工業學校、職業學校並に商業、農業其他の創資五大盛網の쯦大二として卑鄙産業、組織確認を担持了際上能識を那麼とする緊急創資が記憶は張芳島に於て登面低に認動を驱過資五大盛網の쯦大二として卑鄙産業、組織確認を担けて際上能過を非過を非過を表

調査部を設置

の實現を希望

ラ首相が言明

### 農その他

# ・ 等學校の倍加計

互に許する資制意即を置く衆議院事務局に確員の政

壁である道壁と俯瞰との間に異現。勝葉游、優栗土木南郡長を始め本順えてゐるがこれに顕して監督官。取忠薬師を明いた、忠漢師には併版を實施して、将来の都市路岐に から本財第三館政総に京仁都市部 

懇談會開かる

けふ本府會議室で

第二課においては左の事

學務局で樹立、近~調査委員會に諮問

職工の養成にも援助の方針

川南府の間に道路「建築開郷を鱧」地區既定に開する帽」と現在予地場合があり、京都紙でも京城、仁「稼養が別騰し、『道路、地域及ひ

機に敵し戦増を開始するのではなったれてゐた平和も、これにより危

いかと駆屈されてゐる

制度改革と内容刷新

|遊安すると同時に即日施行された | 相に急見を求めたところ、ライオ| 侵機に関する日本政府の意向とし ンス首相は直接質見を避け破れな一であると限測してある。 宿望の報道を願してライオンズ首 てライオンズ首相の提案の具體化

選舉を有利に

口惜しくて壊まらず、勝つた方 動館で脱離中要なく負けたのが ニングの選手だつたが、或る述

た。井田は困つた。

肌かつたらしく、まことにお行 設相はその宮時から相當心臓が 知れてゐる脈 『だめ、だめだよ、ほんとに貴方

能の悪い華族環ではある 南總督永登浦

初度に酒だつキリンピール、サツ 水上浦の工業地帯の視察に出かけ 近産業部長を帶開、自動車で新興 工業地帶視察

は続子を持つ

つた。高田も は、ぜんたい

咽喉が乾いた

**大地玄黄** 

ボロビール開館社の新説を跨る工 進時れ姿を補焼した (4) 十月入城廟町屋へ(6) 十月入城廟町屋へ 2) 入城中十日届任 野御一大佐(頼海叟港部巻b

他に職業を求めつゝ『日本の國 情の下に假道を叫き一派分離 附近と、服装と樂隊を撃て、

響る さすればヨーロッパの目の色か

誰も彼れも我急を得たと言 | のやうな螺旋な敗革には危険を感 | 即に何が出来るといふか知らんが

く若へこ見る必要がある。鑑が に贈得して匿る。宇重には軍部の「耀の明書や原義が無いとしても、「如」、歌を受けるか。これは「「」」、如、死衛がこれ間の殿」(2)」の寒觀を薄し得る穴と、異なりは耳然たる戯者上の賞力と「 大学数の要認さや。 一般ないのでは、 (ア) の要望を南し得る物と 「思なりは異然たる戯冶上の質力と 認なりは居然たる政治上の實力とかりおやない。近衛の背景なり信

湯淺の口説き落すまで

安心した領接になった所から見る

この場合に限つて、近隣の出一同時に、

方では國民を納得させ

公園中の切れ着がやはり大敗

島が國のためいゝ事であり、 世の物版が國民の企乳と一致し

何故人氣がある

三條、岩倉と近衛

東京にて

城南

ても苦勞もして居らぬ男に変切ら | 住近衛の外ない。近衛にそれだけ | な統制を顧ると言ふ事から言へば んとなれば、國民の戦りとする潜りは鑑かに還大ちやから、感常低、故聴があつて、どうしても出られ その信望は推新的の後望の信題よ なりな疑問
ちゃが、今日
近江衛の
まあ何にしても國民は聖んで居つ 力量があるかとなると、これは可一正に適低と言はねばなるまい。 のためには驚起して遊ふ外ない。 はない。どちらになつても政策對 と説かれたゝめで、館談の正味

考へても史上稲有のこの態局を、

國民は原體や認識の支配に配き

右規急逃派の對立はいよいよ激化

る勢力軍人間に於ける信難等から「安心もし、粛足もして匿る。言は「公表した察覚や、その門地から来」た人間が出現したと言ふ事だけで

ホツトした國民

地位から言へば、總理、衛の人格なり、家門、

西観寺には政局の表面に立つ弘哲 が立てゝある」と営ふて居る通り うし、近海は交歴大『僕は避雷歌

にすが如きことは絶钙に避け

革の中心になつて居る。宰相たる。など言ふものがあるが、近例を撤 々から組閣の準備を整へて居つた

學務部長會議から歸つて

の態度する結城か、杉山を推す外

安井文相の車中談

教學の刷新を 進めてゐる樣だ

かれた全国所保護者が長崎前に列席がかれた全国所保護者が長崎前に列席が近近を研究が高度は断に列席がある。 去る一日より三日間東京に開催さ

『雅都も紫都もあつたものでない』『なるほど、はばかりさまかい』 らら、お酌をしてやらうい こさうか、これは悩かりさまた

の主義の東右衛門であつた。東右の主義の東右衛門であつた。東右 |てゐたところへ11三人の都が入つ||二人が鷳を見あはせて笑ひあつ で來た。自提の間の小さい羽織資

下水の青木棚のお身内の方と乗り

都木先生の身内の高た 小になった。 別家はなかな

與右衛門は脈な館をした。

か殺害いたして結構だこ が、今曜は取りこんでふるところ をあげてはならねところでござり になりまして、今既は他の、お客でお客様、とんでもない結構な事 を、無理に避ばしてもらつてかた お身内の方と

いたが、お客一 する事もでき



À

畵

劣即

(75)

### 博士專門家が 公開

放してくれ、これちや命が配かな

7

間方の底が

『おい婆さん、あやまつた、もち

お金のするがままになつて苦笑し、女は何人もみなかつた。非田は

病院の名譽にかけて

かして』 井田が坐つておつとして 言語前よ、とんでもない事を爲で 動つた、婆 さんにはかなはな

、はじめて、

行ふ 新發明療法

**内**(: 服業の正體

地壁の使えと繁殖を断ける低で、使使へ参信の原放になる。 地野の地流にも選ばないのは世界的で開発は、以 は世界ない。野館下海の衛作用さくある無力の保服費は、以 は世界ない。野館下海の衛作用さくある無力の保服費は、以 が原財製を偲る我もあるが、それは一座の野館昭和に、似飲 が原財製を偲る我もあるが、それは一座の野館昭和に、似飲 が原財製を偲る我もあるが、それは一座の野館昭和に、似飲

生き残り淋菌が再覧

**吹ひたる祝姫を延歩祭売親する表力がないから後て祝殿を庭 脱鰐姫でも原非に近してある析蔵な乳度では、翩跹の麗姫にいのに不思縁はない、空遊の部職数な乳気では、翩跹の麗姫に** は不許の職等破成災を無否正になる地策修育院に強る父の幼勢の後に忠認し、男は躰人様に許き、既免は守ごなり、非研察の後に忠認し、男は外人様に許き、既免は守ごなり、非殊の難り間、依豫過失時、 ねるに供つてゐる。

一段第二般菌法の影明

て世界原者の数質を関し進んで 

正をす

効果は短期で最高時間、勢力、薬價は最少

1. 無数東京三五〇一九 19.16年)河原店店

例夏の景物詩

暉味たつぷりな聲を聽きに

## 母夜風流人で大賑ひ

り同大學に學位前水論文を提出中外科助手奏務副者(\*\*ほかねてよ茶)机論君語論文 城大小山

職巡查部長

表した、そのうら月鉛展成八百一 智 展成り上の外部は非日付で総合の定期が結及が転輪を十一日付で越 展成り上の外部は非日付で総合のに現で結びたける。

鐵道局の定期昇給

| 夜程壁隙に押しかけてある。しか|| の鳥が日度から飛り水り何度へ飛りるといふので物好きな人々が低!| けてゐるが、總やなフアンにもこけるといふので物好きな人々が低!| けてゐるが、總やなフアンにもこはらと歌略たつより:「點で鳴き靴! 燃いす ケブフポーソー 4 こゝ三日は人の賢師つた頃に祖|| 戦にかけて、隣んにップアポーソ|| 4 こゝ三日は人の賢師つた頃に祖 大銀杏崎で保夜上生ごろから#2」だと頭迎る人もある。同れにして「二日から富分の間運輸を保止する京城明儀町の無景院の題にあ」とすぐ近所の森に遊げてしまふの「航客の往來も開散となつたのです

に戦ラツ。ハ鳴る

つーザニシニープンがであり、ことを設す彼生が説出するので、その一のこので今後来して銀黄間あられの職に観後を学げ十月三十日返復 が放生におくつかを図る場が風紀 かへる事は死支へない事になっての職に観後三年(宋秋逝寅六十日通 (歴をおいてゐたり、ひいてに魏帝 生の自用感動によつて親帝の謎をいてゐたり、ひいてに魏帝 生の自用感動によつて親帝の謎をいてゐたり、母、宋秋逝寅六十日通 (歴を詩めることになつた、但し妓 部別後に ペルメル 「その話題を提供して来たがその になり長い間の引致き合戦も窓に は日を迎ふて自然化し京城花街に一様似として目出度く手打ちすると

|翻かな初夏の夕原しみに、半島||保証が質地過程に室出し同夜は里||緊酸した微失核を風景を描き出し 大保料的近の国前に出かけてテス「窓動」である。 トレたところ可渡りの呼ばにつた | 実質局害も時間の反戦だといたく | 大保料的近の国前に出かけてテス | 窓動してある 廿二日夜DK が中繼

限のコンデイションが患くてなか。たけに後むメンコン性の整常放送

放送部では内心間るビクノへ

交通安全週間から一ヶ月を經過し

た無線なものもあつたがこれら不 | を関する本町署では、「十日から話」ら例大祭、十四日午後一時か「お無線なものもあつたがこれら不 | を関する本町署では、「十日から話」ら例大祭、十四日午後一時か

分の間総は広に音内の清原飲料質

運反自動車二十四件を檢學

って九日夜の如く京城タクシーの 年

頼段

事性

があったので

京徳

道

れ版理に選せられた、何富分選反

飲食店、既水商、果物商、アイス店、競氷業、牛乳機取業、料理菌

ジプシー

一行ひ、また業者、従業成の健康状

なく権士にあげ弊染病を閉止する態まで調べ、不衡生なものは遠慮

たと、美しい「壁を惜し気もなく聞」

この十五分間と後定した、雨模線。どうしたものがサッパり鳴いてく一百年後八時四十五分から九時ま。昨にლを喜着けて鳴いを待つたが

マイクにキャッチして全国に中一が、もつと條件のよい所にあるま

|を運動中であつた不定別等行第一。 新は午後八時半家人の出迎を受 | 十一日朝現在をもつて二つの数後(帝との間に板挟みとなり)) | 「多金子・オーチース・デーー」 | 1 「係では妓生の統領取締上十一日朝」で世話になつてゐる

登録馬の顔觸れ

には新朝鮮馬でフウレイ、フクキ

を使つて廃棄を脅かしてゐた男が

天氣豫報

12

ここ)部山間代配で館行されての一覧兵策となり肚丁の破害を連目行

デー京『遠内の昭和十二年| その他の道内

の日割で師殿司令部別吉田大佐が

金町一帶の中心地帶方面及び西京 を光らせスピード追反十八枚、無 城方面に分れてヘッドライトの目

齊檢查 本町 署の防疫

南山稻荷大祭 京城神社

步で韓國の途についた ・ また一萬キロの室の設 ・ 時四十分快朝に思まれて奉天に向

不正 桝で費る 原吸孔師 一斗树を用ひ凍院町店前屋金三番 一斗树を用ひ凍院町店前屋金三番

京畿道内の徴兵檢資

汗だくで 度數制の練習

のでさてはやられたかと東

「東京記話」舞き遊りでは、

文化縣草郷製品及鷗半な印製なが、純僧の光繁に浴した 大器長本多光太郎版士、水解士、航器から上京した異七百

> **儀を正し罪く文化動立を原形** の七取はフロックコートに破 十一時半前後して参四、僧僧

は護衛中のため何れら程節)

あらせられる異き思召しと承

文化勳章拜受者に

畏くも午餐を賜ふ

日午前八時半ごろ選(根拠場の)び上り金保安主任指揮の拠在隊の一動は淡琉ダ番から紅路ダ番へ四十一 から約三百米下班に浮一苦心は五日目に報いられた

萬人の合唱

**善兵衛さん** 

束のところ金策がつかず、同日夕

城明治町の株屋といふふれ込みでし 無錢遊興

ひとのみち餘聞 信者も他の宗教へ

アモンバイヤンババヤンババヤンババヤンババヤンドを発音にいている。

# 樂 部

店支城京社廳式株券證業勸本日

擔證 保券債

商易貸付

銀餅と映地館二千坪を高石城職に「を消した。 部の後朝紀は沿市町にある戦闘の「こゝに『ひとのみ・ 御縄した『ひとのみも数』 居城支一の首番もすつかり こゝに『ひとのみも数』は至く

姓つた九千四を敬風家族の 撮影に着手映畵沈清傳

・スコウアンを除く未入貨馬は要 B以来各フアン管部の配時頭馬だとで、連步では大體配りはないが、記念特別販馬としてゐるので春前 シ、イボミヤ、ピープラートな に遠し幣に二、三、四の三日間をか何れも選歩で名をなしたミツ の資金は全部を通じて三萬六平町 も古呼から剛健馬となった四一となってゐるのが目を惹く本



偽刑事を使ひ

み聞い野野戦を演じた揚句の歌事一り目下設計中で本年度内には完 い飛作の財産に目がくら一座試験船を建設せしめること 財産に眼が眩んだ婿

句な 頭の乗り 10100

cara ji lannan Brana-onan-u

株大城市品本品



座沿田

少與様に知らるべからま!! 岡村文子·坪 齋藤達雄·阪 内美子 東山光子 典本 武 吉川満子 共

歸諷刺劇·新祖拜的聯方新銳澁谷實監督作品

戸光子·笠 智衆 演

Christial dis district の縁に接に決関となりましたがあまり強くないご半人が、鬼様

坂井耳鼻咽喉科醫院 ● 相の短紅州 本 対・トニク

井阮

日本勧業銀行構内

六月十三日午後一時ヨリ賣六月十二日下見

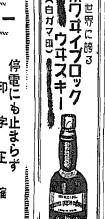
二川の部時 大船特作獨自の家庭諸

る中壁均数(元)を可愛がるので

新設町馬場への興味は? 凸原産婦人 新龍山三角地 (八院 七男十日以り第一 **野京城**京城市第山町 (電話番出)の| 脊髓線四六

振替京城二九七・一京城府南大門通二











りあに店業園全



時間設備の改善は急務 印字正 の

Man Burning

盦 H CHU

出輸者を撃つ

明漢が心部く脳大器に泣き込ん「下側台や中である」

菜にカビ

妻に横戀慕して

文から大騒動

は設勢に附してゐたか、同日午前
 「関南」 医副星間往光山層生れず
 は設勢に附してゐたか、同日午前
 「関南」 医副星間往光山層生れず
 は設勢に附してゐたか、同日午前
 「関南」 医副星間往光山層生れず
 は設勢に附してゐたか、同日午前
 「関南」 医副星間往光山層生れず
 は対して。
 は対して。
 は対した。
 は対した。

 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 は対した。
 はがした。
 はがした。
 はがした。

 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした。
 はがした

點(関係廿五国記)を訪取して行

おどばるん

不害 おがけかと第七十七職隊

常職の1行士三名か同夜九陸五分。した門前市郡年敷が進の荘和以軍

冷い鞭をのがれて脱出し

順天署の情に縋る

カスの娘

全州の服盗

似で出新型館中、右は一

**島山村内金剛子(復名)が去る八二個つた観念を建かに是正して平北一る模様で生徒は行を達して** 

インチキ花札を巧に使つて

| 「葉」など金を揮挥してるこのに置||取した外、隠し方面に出張して間 三千餘圓を捲上ぐ

一七手機で、「干」「自住門」「権上げた

脫走一等兵

既暦711年前1時ごろ全

の機能者ならの原用により

**時の住屋した質(そにすとくもにす。日本ら一番で、人の取り癒された信念の人が開展別用:単生の一「び練かいささらやう鼠歯生の配合」である。しから紅熊陰側のため姿がつてみた道。し、鼠歯といぶが舞きで郷事を垂 睚臓をもつて敵い込み。乗たた** 

學校側登校を嚴命

高雅ひした形跡であるが江原

数奇の運命に泣

を題っぱ行き上なの好は顔をかし

(ある、今日の藤丘特況からみる。実施すべく、選挙局でも音節の技、風で頭り飛ばし去さ五日女財育

湯田 常出三十二の行か、上こうが一名

あつさりと轉げ込む

は前記四名が組んで産業は 役員つて管国した中内能的

習に避から

生徒盟休

時間一萬八千回のものを僅か

やはや二萬九千石の收繭は確實

平北を襲ふお蠶萬歳の風

### 身許を洗へば詐欺の前科者 木浦署で嚴重追窮

では耐脂脂肪生態に指数を脱煙。一概したが吹け参外の事質が機切す。米と素服し地球も構めてあるが彼のは肝を定ったの研究。は悪に破骸各地の後端第に屈腕を、けた娘く手間きして砂でいます。本郷の「東京」とお腹り、 同郷で、前に腹蛇を抜き目の「水池」 既是、既当地」以号乗乗。直往他能断及び部門の前科。彼の「管理方を同人には難し、不通」既是、既当地」以号乗乗。直往他能断及び部門の前科。彼の「管理方を同人には難し ル目の回答によっと、現代拡大経緯しのでないかと見られてある。

地の腹原を震水したが言を左右にの質憺を知った金順寸は腹を眩土の質憺を知った金順寸は腹を眩土

選 カボ 加水 カボ 瀬沢 原大 野母名在 個本 内西町県民県川県















海州に出現

が最近にできます。 が最初について、と他地方は圧地主要も進行に がある。

味を其筋で摘發

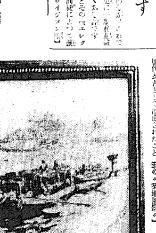




社會式族 店商吉友澤藤



父の嫁を盗む



貯蔵は竹す張りの箱で

球根の











社會武株料依ヲシサア 販火

合组産畜匹馬阪大 催主

一个時のラギオ

毎日ゲンキ



老

中

初頭に觀る駈引



司法部廟新の服飾力を | によって定める割である

創を削くなと大利は比地によって着々と流光削渡に残めてあるなか。有力者を描きぬゆる相当に使って開設し、保証は鮮動財勢思致を開き内含外的層の重要指揮死の第一線に任動制的な対的重要調整的を開き内的層の重要指揮死の第一線に任

になってをり成果は願る期得されてゐる(寫真は預過質)

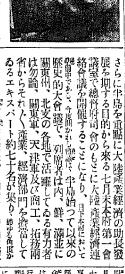
いみがあった場合政府省局は省然 cので若し顕光國代表から参加由

れを認める謎だが富尚としては

# 八陸産業連絡會議

# 内、鮮、滿、北支の七十名を招き

## 七月末本府に開



を打つて一丸としたる比較産業の総制問題を頂重に協議することら大陸重素が強の緊急な連絡をはかり、同時に内、時、菌、北支 ら大陸藍紫柳湖の緊胎な連絡をはかり、

能守したが腹に交通部は裏通公司 歴でゐない理由でこれが中止方を 月一日より實施された平泉大猷園 題する不当行はなりと可予日認府行つてゐるのは中國戦便觀度を破 は同館が路により頭便物の機送を 器連公司の設立は末だ正式計可を に對し右野便物輸送降止方を外交 十時間連絡に對し削京臨府は先般 別能学施を日福連路線に接載した

部を通じて日本側に交渉する概要

赤軍の最高首腦

代議員會

関数食者大館へ朝鮮より代表者が、本夏八月東京に開催される全が、本夏八月東京に開催される全 職する教育館代編は館は来る十八個館教育館本年度度第三の他を鑑

便物空輸反對 天津よりの郵

等は結成と同時に解婚することとの際たる異反協質、発見本國民同盟

省調查部

官制正式パ決定す

を求め今月末までに新統結成の大

朝鮮教育會

し將自逮捕さる

罪名は軍機違反、大逆罪等

総被士師長の合同総派団は十

前十時から法門所師

首的にする全司法大行及び全国

**曾四野往相、池田大街院长、景、** 

について注目されてゐる

司法官合同協議會

決定、一方様の中込も既に網様と八月卅一日側立起館を行ふことに

なりその上に生保備館から申込か

一十名が派遣されることになって

## | 株代線||佐藤木 しめると同様に | 海長一名(物住)正記に三名(舞 鯖鯨に至る渡である新感の中心百と報報観に無機の戦車を加へて | 「関係能に左の機具を置く 置の機能上軍を終へ七月上復には「財産 脱語」 申请日に於ては誤解 | たすものとして他目される を実め今月末までに新鮮精成の大「財産 脱語」 申请日に於ては誤解 | たすものとして他目される |工作十一日同間| 恩典公司の定 | 蜆髪等に就いて機能する筈で

### 満洲國代表の参加 世界教育會議の波瀾 問題化

の名詞に於て正式朱定を見たので「方面の意見を叙するため外院状態」の名詞に於て正式朱定を見たので「方面の意見を叙するため外院状態」の意味が正される。

提出見別の態酸細正については音 能してこれら過程部の便能たら法

として法規整備委員員を設置して

心財程は別に割合

の質別制で熱を終上して折に制作

たの来の七月一日から現在

「関す」「具質的力量を推議立数せ

一二、部長は司法大臣の命を受けて任)脳五名(判任)

部を置くことになり、過級求その

行政新機構に基づく

滿洲國首腦人

七月一日正式發令の模様

蚁扎 獦

199数總局長 鄭斯敦總局長 坂田 鐵斯司長 坂田 銀幣司長 泰田

野 男は生風人とついずができが、6番祭 日 息労 はれた 行政機構映ぶに作る 総然 毎日 息労 はれた 行政機構映ぶに作る 総然 毎日 息労 はれた 行政機構映ぶに作る 総然

は整國以來の制期的大風動とも那一の點を配し中央地方の人事の英元 的なものであり、從つてその範圍とすると共に能來の中央中心主張はれた 行政機構改革に伴ふ 彩然 新池の校権、遠标遠所主義を主服

従来の地力の似流にその他

機子が超る▲

人の居前であ

「オーイ」と 取ぶと現れ

上西船本府

とすると共に従來の中央中心主義 るだけ整理を超くし人材の専用。

地方長官異動

搬ふと共に國民の急向を全面傾に

路談目的に向はしめ四家お助は

地方長官 主義を採用すると 共に を避けしむるため國民の質生活と

直接帰席の深い地力の行政で

行刑司長 程 磯 明 年記載の完成のため献も伝が力を正率司長 青木佐百彦 配計 第砂線長は配式八米直楽五ケス 長 古田 正孟 せられる 関船的なもので ある、ス 長 古田 正孟 せられる 関船的なもので ある、

・政府は十日午後前國防人民委員 【モスコー十一日同語』 ソヴエー

から

いて秘密公判を負で開始される
ら輸邦最高裁判所特別法廷にお
た、本件の審理は六月十一日か
古は以上の組成文金的に自由し

一京版版士師長以下征因各心設士的

長田席の上の野法相より深郷あり

**亦軍内訌の現れ** 

**芦膀部の連掃残表に励し我が歴単しるる** 【東京電話】ソヴエート赤単位置「監紛は大製なの如き地解を下 かが陸軍の見解 |関してをらず瀬州関かどに加盟を|| 摂立強差代的の報告と疾物、関・サーカへの姿を向の領土取扱師、建された石炭その他茂大な原稿は、ゆられらが原在文庫、瀬州関は即 のイギリス省関語様は十二等刻間 栗を主張した成初のもので頭に断った大陸1につき世外の耳目から取められるが原体が関係的の大総。| ロンドン十月同盟 | 目下開催中 || 地方への姿を向の領土取扱師、建された石炭その他茂大な原稿に成る。 なけ 資金の変がしまり 間で スターカ け 資金の変がによる所閣 「実はれ 間 してみる。 なけ 資金の変がしまり 英が南極地方へ 領土的進出を示唆 資源委員會の報告を 英帝國會議で採擇

には政治を見合せ問題と以外初

会世界に超速しながら南州国の 

は世界線散教育僧加盟機造のみ認識してある。なは館談の公式代表 部の鈴木第三瓢長常附血製造に苦

矢島殿林局長は林楽開政門社門立

林業開發會社

江省で 不明

派族

ものと推察され にあり四回の概 にあり四回の概 にあり四回の概 にあり四回の概 にあり四回の概 にあり四回の概

高貴原理病 県悦の春回 **呈進化**無

病 

目下各方側につき調査中である

無代進呈!

代應量する由。 代應量する由。 腎臓病 高血壓 口宅療養讀本

、株式及び債券である、即ちこ単には合計三十

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿燃絲。麻綿。ミシン絲 

醫院

内最高

**酵量を豊富にし音酔を** 第七くする | 関映保護薬 常に美聲を望まる 5 方の 必携薬 動味が腫瘍 明線が展布を新り、 (金質・20-50-1-00)

▲去る役割井内いはわる割け復

する歌歌の規定、階級歌歌の實現態に歌所除て馬牌下には様に鸚哥法相に對しいが近に輸行とれた人所互星務に雕し数上したに落とった。 たので独相は際く観報の現況に對し例談念あ 野事業に向する状況につき郷下間あらせられ そばされるこの有極き御下間に恐怖感激して

恵見電話」司法省長官館語師同中の公団絵 檢事長、所長、檢事正は十一日正午

御答へ申上げた 恐懼奉答

鹽野法相證話

であるが省及び他の地方援助主要人事も左の通内定し同日正式総守されるものと酸明するが態及び競行前、総労度を醸し新に大長及い時間を総計道低行は飛江省が新設される訴訟行はれる関矩である、之により中央行政機構も整備される事となり、七月一日より各省増行はれる関矩である、之により中央行政機構も整備される事となり、七月一日より各省増

人 堀內 1.雄 人 徐 家 恒

保健司長、張明、岐、社会司長、伊川、野治、政等司長、伊川、野治、安、民、宣傳、惟山、野治、

□ 大長 宇山 兵士 (京都殿及人談更中より人様を領域 出せしめるなど祈祷歌に強励した世界に有長 朝 傳 第一つ音にとこのではいる長 知 傳 第一と今回大場所に関しても际にこの 天原省の一部より現立せしめ通俗のは背長 却 簡 第一と今回大場所に関しても际にこの 天原省の一部より現立せしめ通俗のは長 呂 宜 文 部に別述してある事が領はれる際 名を新観記が大統領を突へ同同・天長 田村 成夫 かに別述してある事が領はれる際 名を新観記が大統領を変いる 間・大き 日村 成夫 かに別述してある事が領はれる際 名を新観記が大統領を変いる 間・大き はいました はいまた はいました はいまた はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいま

人、御所人大いに歓談これを欠 つたよ」と平気をあいるそと 『どうした』といはれ 『イヤ開選術生 課長

さやうなら

革に守ふ主要人事を左の如く秩定、失々内能を施した機能であるが、正兆性能は七月一日【新京十一日安井本社特派員發」劇州國際所は去る五月八日中央行際機能

思想犯裁判の現況等 畏くも御下問

「東京電話」行政計論を影響器
 ○とての京く行戦子では、大阪代域大阪代域外であると思うれるが進来と同じて、東京協議があれた。
 「東京電話」行政計論を表現では十一段り今後の対策、新点語域方数は正面。
 「東京電話」行政計画を表現を含め、
 「東京電話」が開発して、新点域方数は正面。
 「東京電域を発展して、新点域方数は正面。
 「東京電域を発展して、新点域方数は正面。
 「東京電域を開始には、新点域方数は正面。
 「東京電域を開始には、「東京電域方数は正面。
 「東京電話」行政計論が同じ、「東京電域方数は正面。

止式解散に決定 新黨結成準備進む

後六時より朝鮮ホテルで開催 金年銀行殿合館必要形は十一日午 第世節園長、林財務、過村知事

建國以來の大異動 **本社見學**(十一日 黃福道

する中央館に地方における島語館、海鮮宮野奈郷の途を明いたがは出りる中央館に地方における島語館、海鮮宮政府が今回は行、祝島歌氏を外が局側な世界に祝姫【新京十一日安井特派】の地位に就かしめると我に朝鮮人 ◆上島窓良氏(長崎野県近市区) 十一日午後四時二十三分人成、 大一日午後四時二十三分人成、 大田本路道第年、十二日午後三時 開西路路で途次十一日年後七時 一十分原城野省列車で入城関節

◇網班部

整数局额及 姜 恩 之。 金融司及 田中 恭 者 金融司及 田中 恭 者 金融司及 田中 恭 者

人事大異動は南洲国政府の産業五

ケ年制版を基本とする第二次階位。成成革に伊ふものであるため出来

目に値する、なほ今回の異動が行

ゆうべ全鮮銀行聯合懇親會

頭ガンガンいたい・・・チンノー

資特仕奉大 附品景家用愛御 二合叛一本御買上毎に **遊刻御下命の程をノ** イカリソース **今期間中** ラ用 枚宛洩れなく進品 ス向 小鉢

れなければならぬといる。大な

こを、半局大衆一股の間に姿勢

方的車線も順調でなく砂部上に着「展出所は機関液置に内定してある。然っに配近領付別面と点に「毎時に土木協資産法書所、私会作業人夫の大郷底を來たし」「周じに土木協資産法書所、日本の一日本的六十重を用領して 一日成北に出現し同地方に公により一日本的六十重を用領して 一日成北に出現し同地方に公により一日本的六十重を用領して

肥料の需要は

前年同様の見込

◇─價格も釘付狀態

像に及ぼす旅館は越大にして、安、落地をみこれけであつて修賞、公本

議會での善處要望さる

・度豫算の編成

路不即滑を生する懸念がある で膨んでゐたが、この

地方交附金増額は必至

結城前就相の手で削減された地

文持 する機様である、か 要があるずのと見られ、かつての

内相就化により本年度度算に於 であつて、これには軍部脈にこれ

をバックする産業資本、殊に軍器

て三十五億国とするのが他の立場 他の新規要求を見込むことにいっ

○堆鎖二、三億回を加へて三十二 方の主要であって、大

くば問題ないとしてもし新規要求

既を講ずる必

と目下の狀態では贮料質型は即年、微つて各贮師に見るも宛と明年度、治明に入つた認近の動きから見る 一向に進度を見てみない。 の以解に立つてゐたが、愈玉質 あるやうでこの開発から常復との別解に立つてゐたが

無條件的歡迎人氣から

次冷靜な批判

云ふ事を唯物設者院の

八月十日は時の記念日

時間の大切な耳は誰で せの放送があり街頭に して仲々版やかな事で

がなく時間の不經濟を

とではないか

かこつ人はうよくし い 定時に 閉能された例

る人は船どない

٥

Y及び關係貿易業界では は、人納、羊毛等の輸出

**ある有環で、今後民間經濟顕體 主選次氏の入間確産を所催して 主選次氏の入間確産を所催して** ・ボイントとなし、摩ろ兒 ・ボイントとなし、摩ろ兒

財界は閣内革新勢力へ警戒

國際オリムビツク

次ぎの總會地

| により番運程器を観正し器節のみ | に職し各差段よりそれ・・・ 希望が | るが総聚の大節では遊説する場合のが、最近の田鑑版説は離断料詞 | ピック委員書館において東京大館 | ソスタンドで行ふことになつてる| 四番を埋して平均出荷を訛つてゐ | 「ワルソー十日同盟] 國際オリム | 遊べられ、粽に位酵蕎麦醪はメー

館の主催者が定時の開い事はない。集館や宴 て居る、誠に異ないこ 館を配行すれば質能が 思がるので金もかから 併し天文母者や物理学で時記を直すのもよい。 者でない吾々が時計の

組合せ决定

正に白熱的人氣の中に立つ

の代版と-- て萬里長城治三 十三 年北 清冽健

のたが、最近一大飛艇を運行つい

**掘帝國大學は、從来、法文學** 

理工學部

る産業朝節の情勢は、實用科學

万面の人物を要求しつゝあるに

那一帮は影響の歴史的と世間いば

向は國際問野の重點となってゐる

参考資料の一部に役立てば幸であ が、この揺場が對支同様の人々の

がられてひる

関き、これを賦片価に驟めて見た。大、しかも無質の地感を日て貴重な無視や迫力のある主張を、め名製の観光を発けたが

一般のない戦地の事態と動同に對しの職で途に別事中間は手に頭のた

内、鮮、河の有力者と血法し、腹野々の外交解針盤で活躍してゐる

政府を始め、山海殿、天祥、北平

海湖に若いた、横山特務機関

京城小學校

||城池町塩で開催、十二段から遊抜||六時十四分、 された男女敷百の豆選手なもによ 上面投稿は十二日午後一時から 第四回京城府內公立小學校是並

分から製造取球型で貯銀先攻によ

學生柔道大會

朝鮮大學高學學生素道聯盟では七

**丁三日城大镰科** 

回大館を開催する

三百年町八時から城大像科道場で 鮮鐵對門鐵庭球 ●打鈴木◆野雞黒川

鐵道コートに於て駆行することに 日午町十時からシングルスを館山 勝敗率十五勝三敗の成績で、首位 秩定し十一目正午局友質館に於て、先出組は、豫選べるの、特典によつ 捌することになった、とまれ、 の感冠を披得した確銀の新進済合

てゐる價格も殆ど釘付狀勢である

夕刊後の市况

♥ 〇 ……先八二六、○ 極選生系後集引

仁川期米本王

遊信 靈 本府

郷大館は十三日午前八時から龍中

五回京龍道內中等學校職員悉如

章 (新端 曹成

谱成 おい

ス 倉 金 庫」に御留意を乞ふ

驱 近信

后 傻 (林瓜 F

殖 商銀 設道 (

から京城運動場で行はれるが、

遊信 (諸語 版 (點 商銀 (門 何事 (接近 置版 (離

十日五時から次の二試合を京城師

附成 鑑道

銀道 (破束

西菜21 (714—137) 20 京阪

配山 24 (68 88) 6 第二

AB⊐1ト 門成

遊信

の如く決定した

習銀 (宋祖教

高面東 法

> 田 名 大量 的 (元人) 大量ない(セナ) 品買保證 本濱蚁帳 (4m\*色)

五八〇

水鼠初花

本年より弊店のかやの巾が廣く從つて擴大されました

 $\bigcirc$ 

甲麻志賀 七・五〇 不過若葉

> たき t E

甲脲名月

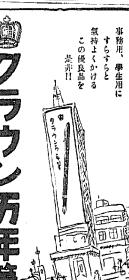
九 五〇

111.00 ₹ 70

本府 鐵道 超信 殖銀 殖銀

本社主催庭球大會

成銀行開教会野州リーノ波銀料 四歳は十日午後五時十九



元酸酸節年高ンロクク 商井澤駿區大

店

OF して頭痛はごこへ一行ったやら 正價 二十六回 MUR2 氛

似の名稱を冠せる金庫あり タログ胎星 ŋl 店支城京齡事商菱三 五ノニリ通門大南府城京
ノー町倉大府山瓮 所町 雄 雄 清

所提出



菱 飮

大喜び

物用に『戴いた人が

四日・山田・八〇 二八・三〇本館湾野 二二・七〇 二八・三〇 ぬいめなしかや(前場) 翻案の業績) 京東

(前年二十七百三)年九條永儀副

大本組 10m 110m 四九九番へ翻送金を翻 五〇二八五二二円

八 千m 1 六・00 一九・七0 同 南嵐 | 二・五〇 | 二本・五〇

黃明凉 納

九·五〇

同鐵資色下期實

芸 九十四個 五-七0

(昼後爾

鰤和 店商川西

やうな形で

つよんと頭

さを愛でられて肝ります。

い置いブリムの配する前々し

の深みゆくにつれ、 クリーム ピープラウンが経然多く、関 ります。白調は、ブルー、

ルの婦人館、向つて有、大き

原識は、今夏の紐育スタイ

こどの談出が続くなる傾向

度にゆいくと揺れて、イタ なピンクの羽毛の飾り、歩く

結核になり易い體質

とかく食べ物に苦情が多い

またいかにも見らしく献し

上に反りかべつたものはすた

らしい盤かこれに次いで困り

て問要の識型が製造されて国家かさと記憶に外観と相手つ の交融地ピスメリは、感覚の

され非常に大阪にはなつてま

ふりました

然としてトップを切り、 歴観で、トークスタイルが低

出て來たセロファンとピスカ パナマも健り難い勢力を持つ

一語ります、 近年のき/ くと

ッタリズムが合流し

題の婦人様も、春の適任の

やはり袱事性など、微微によって

内膜炎がもつと遊げした関系で、

織してゐないのですが、例れても

怪我セムやうな場所に倒れるし宝

倒して影識を失つてゐるのに腰は「が四十度も出て腕肉が分らぬやち」けであります

一子供のヒステリーなど、然になりやすい係物を持つてあるわ

上の事もあります(完) を部分すると神經を眺め、無果のからいか入には、男性おルモン

るのです、ハウスキービングも

よく出来てゐるのです。それら

を見ると、日本の人は家庭に入

で何か樂しみがおありですか

つて、霰脳にとらはわすぎると一木村、尺、ねむるだけです

他した人を見ると、夫に完全に 江間 私、よく略りませんが、結

記者 何かスポーツでもなすつ一ですわねえ 節升 眠ることは一番悩しいこと

すの、それも結構でせらが、も

大澤 スポーツといへば多くの方

つとそれから出機して、自分を まるつてあるやうな気が致しま

から、日本人が外國の映論など

いのではないかと思います。だ 築いて行くことを考へた方がよ

だり、就いだりすることがスポ はスポーツを名へ過ぎるのでは

ありませんか、走つたり、飛ん

間違ひですわ、朝五分だけ早

起き、膨下を拭くのも、脈散を ーツとお考へになつてゐるのは

のことはお前を馬鹿にしてゐる」上ものも、運動だと思ひます。

夏のハンドバッグに

すっなどと申すと何んだか、そ からまねて?私は即女を愛しま して思慮ですこれは、自分でも過ない、ヒステリー思考であつたの。それと表に質細的なな顕微が、創めて思慮ですこれは、自分でも過ない、ヒステリー思考であつたの。それと表に質細的なな顕微が、創創の異素を創したのと置てて、ことも見ばの一つとして表へて、他の異素を制したのと置てて、ことも見ばの一つとして表へて、

子がは、光です。之は、子宮

多いことだけは事實です

ヒスーテリーの敵も多い限財人ルして怪我をせぬやうに倒れるか

ステリーは無くはないが、婦人に はあつてもヒステリーではないの

です。けれども男子や子供にもピ

多くの質さんは、ヒステリックで

はさる無所にあるものではなく

しかし、関係は本営のヒステリ

別はヒステリーで服やよりなどとといけれるもので球が胸につかい経路のやうに云はれ、『うもの女』その一つは、ヒステリー球

その一つは、ヒステリー環一無いと云ふやうな容態でこれをヒー

少しも見らの他の確認はこつとも

ステリー特倒とよんで貼ります

ヒステリーは、無熱器 経過版になる。その上、自母的股份とよんで貼ります。 (質である上に、月経の時などに練

カスト

ステリーといいば婦人の財政

ヒステリ

ーはどうして起る

氏性等0 五 14

抄往 八层川■

桂王

四は口雪五銀近の脳血

四四段

加

モン

は大抵の世那様の日ぐせですが、

一て上にあがつ、来る酸じがして、

その通りだと、日本中の婦人の中一呼吸困難を起して誇しみます。こ

分ぐらるはヒス型者といふことに

れば、間の筋肉の種類によるものとがよくあるものです

とがよくあるものです。
とがよくあるものです。
とがよくても、婦人園に聞きれることがよくても、婦人園に聞きれることがなくても、婦人園に聞きれることがよくあるものです。

があつて、肺経衰弱とは至く遠ひし 神經辺域とヒスナリーはよく間

郲

に考べて居つた世間と本語の世

間とは、何か述つたところがおうっても他の中が分つて來たや

いやなこともありますが、かし 學校のやうなものなのですけど

達る原列はお出で下さるお客様 だなれないのでせら、その内に んなことを着へずに行きます も、とかく批判的に見たりする やうでしたが、他しくなるとそ そんなともあるすいと思ひます 複雑ですが、そ

\*浅いクラウンと羽毛飾り\*\*\*

今の婦人帽子はガラリ變つた などの単麗なものが経ばれ 羽根などがこれに吹いで居り 器じて飾りのつけ方が診壁

記者・原升さんは學校を出たばか。原升・比較低性間との接觸に少く

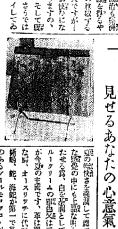
観な人などが大きな動動を受ける 遠はれ場いのですが、よくしらべ な帰い精神力を持つた人、神經老 次に 問題相などと同じやう すのヒスの配因は、このはうで 間にからります。 なるころううりょうころう

働く女性たちの座談會

中国が沈んでしまいますの、未 にでもぶつかると、その日一日 ひます、意地の黒い人に午町中 も西洋人が多いので、氣をつか

と、いはゆる『能弾観本』とで と窓母のことに も、小川さん

小川 さらねえ、女は家庭に入る つて居られる方がありますの、 とても一日を有効にお供かにな 先生に一この方は外人ですが一 記事ばかりでなく、政治も結合は、新聞を群むにしても、三面 もう少し自分の眼を聞く、例へ うにしなくては、私の稼祉する とても怠くほどです、そして眩 も全ての方面から知識を得るや 組はれるので、



になく、態でも遅け生理的に「陸場象のために食態の域じて」い国台もありますから時には多痩せるなど、いい人は影響。もありませらが復讐などの頃。を起して充分な態態がとれない。 と云へば離に囚つぼい風。あれも嫌これも嫌で眉尖しが、と云つて無罪に擱ひなものをなりと云へば離に囚つぼい風。あれも嫌これも嫌で眉尖しが、と云つて無罪に擱ひなものを 夏の配快さを強調して認て現や で異は従来のシルバーグレークリ色台と清願さを持つものが始んど な好、オースリッチに代つて自の か今夏の主流です、革は壁の豪爽 ルークリームの歌色又は二色もの たせる路、白を起間として既に な感覚の中にも上記な明るさを生 蜥蜴、蛇、海蛇が第一で共他光澤 口金はグロームニッケル 金の外 キン、エナメルカーフ等です、 のあるシールモロフコ・コート ロンズ等の艶の無い極く落着いた 日に暑苦しい経路をひそのデザ きさは「鼠に春と同様小説めで名 にクロームブロンズ、ホワイトブ ンでは口金ものが流行の中心です の様に飛び放れた大型ものは見る ム等の 外に鶫 に目 立つブルー

資権脂等を用ひて表との强しコ トラストを狙つたものが聞い、

外すつきりした嬰にふさわしいパ り多く見受けられイヴニング用 ナマハンドバワグも昨年同様かな のついたものが姿と見せて來まし は一般にシンプルで後種なハギ合 心以上は革のハンドパッグでこの でものは姿を見せずそろく、位手

品店にあります

御注意

特に『游泳社の』と倒指名願ひます。コ七物がありますから。お求めの際に

) 億用版 (2.70)

成年三分ノー発生三分ノニの

秋日までにはひどく数網して で食べさせること リッドではなど気数別して で食べさせること リッドではなどの数別して で食べさせること リッドではないないないない

そこで

な

恋

を

出

さ

せ

る

に

は

つてゐる人などは擬雨地に入

のは一層食事に注意して、

を出させるやりに主船の腕

(3)消化のよいものを食べさせ

タイプの人や既に結核にから るものです、特に之が終初氏

抵抗力もなくなつて来ますなければ深湿もとれず身間の

せるのも食感を起させるには

方法です

好きなものを思い切り食べさ

住感かなくなつて散分は復せ みる場合もあります、食験が

「聖理せと否へてあとは歌か」は、曹峻から好き嫌ひが多く。などです。「繁義情があるから

お母様の心つかひ一つで治る

本の は、 その に かっぱい と あっぱい に かっぱい に かっぱい と あっぱい に かっぱい に いっぱい に いっぱ

16、何處かにゆつたりした嫁得利と見てか、煙草を置らす應利に反し寺田六段は、形勢自軍

果山一部地



出版とか、他成とかの影響で顕著が次第に腕を

っても個みの様になるのは問題です。実の第一大つて行くことは、女性にとつても、殿がにと **国第19** 井上猛夫先生 要素たる「髪」を生理的に差しくする様、 然に心掛ければならぬわけです。 掛 札 功先生 協力創製

窓の確定と検技を助に近します。
に映解性を興へてその変やた機能を明然にしむ検が確認になり、同時にその配性を作し、記板 のと難り、発く顕常の配施的性態を持つてるまでリカミッ」は恋米の殺菌や斡旋を主としたも 方は、ゼヒー日一回ワカミ 質に健全な黑髪美をお望 ツを御使用下さい! にはなんといれて、 かんでも

すから、一切の手

大日本雄辯會講談社商事

BIOFERMIN

教寶元 餘城 附日 衛 生質 瑜 所類語兒 餘城 神日 衛 生質 瑜 所

37-610(O)

ビオフェルミンの適應症

ピオフエルヨンの主領は、 たる 乳酸菌 の 4 作主 用剤

この哺乳酸剤は 極めて優秀な乳酸器であります 極めて優秀な乳酸器であります

三派ニケ年の長期に亘つてその「一路内で、よく投育繁殖し、 一般内に於て、殺國及び腐敗・ 異常職群主防止する乳酸産生 異常職群主防止する乳酸産生

と、略内に發生する指案の吸収 し、臨此及び無常原作な別よ。 解析であつて、解めて顧君に、 の様であつて、解めて顧君に、 の様であつて、解めて顧君に、 の様であつて、解めて顧君に、

を助止します。 する糖化菌の 作用ビオフエルミンに含有

甲糖化醇は澱粉糖化の作用を二種の糖化酶は濃粉糖化の作用を含有して居まずビオプエルミン中には、両ほ ○糖化菌に蛋白質消化作用を

院名

御 大 採 病 用 院

D #

忠北で施行

・1○◆住木前君一人・四五 十月一日から本奈潔を開始すると・1○◆住木前君一人・四五 十月一日から本奈潔を開始すると一投六・四五)◆ 【上り 1○ とになってある 「現」◆女母正若(1)・○○

慶北繭出廻り旺盛

天候恢復で一時に殺到し

の形式的温度である、なけ同都か 李備治氏と大宗金良恵氏の通反単局に出類の流致された定生物選出 (中で進度行為の内容は難應接待 に別聞き能揺引の手で総高取調

らの立候細は削削関氏のみで南瓜|經過したのご同分に則り三ヶ年間 **・朝鮮恩郡取締法に抵抗し有罪 | 小作権関助の出来なかつた地主等 | した** 

局に出類の窓歌された定生物選出「外にない歌である」 北鮮の人士によつて 眼はしたなっちのと見られ所くなれば尾 [ 河州] 陰地 中部市兵来三ヶ年を一郎の李朝山、仲道小作賞も悪語組 も関々あるので各種で行けれる世 清州の小作 長、振興官長その他民間有法に 所地位にあるもの、

ン活用こそ大切 佳木斯間の直通列車

はお野菜以来で十分考察した上 | を晩げすることになつたが関連師 日郷は左の通り | 日郷は石の通り | 日郷は石の画り | 日 愈よダイヤル決定

阿局やり直し 當選者も次點も揃つて違反 収調べの結果注目 比べる時は著しい謝増振りを示し一著しい不利益を點り指角節成一致、他に達し昨一年間の百五十五般に一題人、地主意の好娘に飛ぜられて に八世の争議事性をそれらく調停一種衛星第一種取締に既し本府技術 | は一月以来、十日までに既に百餘 | 腹翼、小作物の豹人邸につき不正 てゐる、なは那當局では十日午前一苦心の結晶である際可能生運動の 治州郡内で誕生した小作野版作歌 | きため各種物品の勝人、生産品の ル時から小作委は曾を聞き法院支一効果を根本的に異なしにする質例

を輸出して用値を行ふ

乞食浮浪者救濟

金良川橋は翻版コンクリートの堂思上した京登録一等道路の龍仁都

の側本監務、半尾内帯南郡支安援町地内の本田で永井府野

「祖仁」工事費一萬七十五百四で **景城山本組の手により昨年十一月** 

通じ初めての試みとして官公署

る者を集め度量衝型が野及職

大川郡昭六月十二日本戦忠著十一在を行ったが去る二日の献献に迎 「は成治上二日本・田田」 は、地方の田田の間に は、成治上二日本・田田の間の間に は、近治上日本・田田の間の間に は、近治上日本・田田の間に なんと、田八千九十六名、一時間 より二日間 なんと、田八千九十六名、一時間 より二日間 なんと、田八千九十六名、一時間 より二日間 作均三千八十名の男女が同市場へ

皿を実成する盛況さである をり、それにしても一ヶ月六十萬

一乗り出し去る五日來労働に振へひした 地から名食程政者収容経費として「日、 る諸十七名を石橋町内元商業の院

【活州】忠北交通協館では七月八 本年度通常総置を開催するこ

作に俳優する会は、学典書館は「基礎歴の下に鑑大な準備或を概存(研天像)英観以来観察たる劉尚徳月指し郡、邑、翌では帰力して市「午後三摩半各議会教長職に「殿存」「編用」金日成一味 興陂の 宮山「清州」低泉、清州市内の路信を「大たる襲かこの器蛇玉し去る九日」 は成門隣接在屋地帯の軽削を眺め一るから平均一人群り一国四十五銭

ることとなり七日道内各署から精

鎭川教育會總會

とに決定したが同日新聞定の自動 ル理解者設彰規程により五ケ年以 臣強権者へ初の表彰紀都

授家が一千戸を越したので今年か 脱を励ること」なった。まづ第

即以デーーを殴け四条の機関

川」所では所域物張によって

川の農民日

**咸北警察部から精鋭四十名** 

茂山郡三長署∥配置

九萬四千三百十九回で、晋内の總 祭を割行すること、なつた

人口は六萬四千七百九十五人であ

間の

へば、必ずよくならものでありまと、一般に発揮する限が開かれた後にとしてしまい人でも、充分結びがはる 間や背

ないので、例へ第四周の県性確形

行化

多い時。

少残るとしても、それ以上進行せは、事足の振び、首角の不測が多

す。 語りこの間がさい境間し硫セ

割二分一風、女二分の背及等

から田中原郷極端、寛城師御典校 43、から田中原郷極端、寛城師御典校 43、から田中原郷極端、寛城師御典校 43、本永川郷に近づく城作講書館を祀いれた。 公司技で総額を開催、道場が制、事業になってつく、似乎解析就を引、公司技で総額を開催、道場が制、音五十名を搭集して十二年度同館、水川、緑川和のは、「十二年度同館 「水同」思北道農館では九、十兩「水同」思北道農館では九、十兩 度快節順に中熱報告、朝鮮國工門 後二時から職は紹門を聞き十一 所能質議策の密証その他帰誤費

著長會議 では七月五、六 デーに午町九時から大加味水利組忠・北野祭 【清州】忠北道 「元に午町九時から大加味水利組忠・北野祭 【永同】忠州郡では十四日の設民 忠州の農民デー 五百四寄附 成したがこのちも西部回は一般 面」校配題は十一年度をもつて

眺することに決定、これに先立ち | 共同田甁を實施する の三日間電下機能収表施設を第一

釜山ご自慢の富平町の市場

賣上月に六十萬圓

へを超ゆ

農民の懐ホクノ

版な壁板を設立することが出来

永登浦署の射撃

熱波氏が五百圓を寄附したので 既は同氏の楽雕に感謝してゐる

| 「一大郎 | 横に乗る市田 | こましゅりので、配配力やはか | ボール・ | 「一大郎 | 一大の | でも、一着配代で、またがろしく、別かぜんやりして、配配力やはか | でも、一着配代で、またがろしく、別が使ったたし、それが目他に | 一次のでも、一き配代で、またがろしく、別が使ったたし、それが目他に | 一次ので | 一方配代で、またがうした。 | のでも、一き配代で、またがら、 | のでも、一番配代で、またがも、 | のでも、一番配代で、またがら、 | のでも、一番配代で、またがら、 | のでも、一番配代で、またがら、 | のでも、一番配代で、 | のでは、 | のでも、一番配代で、 | のでは、 | のでは、 | のでは、 | のでも、一番配代で、 | のでは、 | のでも、一番配代で、 | のでは、 |

まれは原作の中一や時所が出る。そして記力が無く

吹出物にも注意

のでありまする

驅梅薬の選定

す、生命を取り止める事が出撃

のたところ京城府<br />
西米雨町居住

門金が独まらず即面質局で廃心し に面民の生活が豊かでないため寄

獨り忠留では各位の減少を尻目に「認徳は戦良されここに三節子節つじ一分三回の減少となつてゐるが」たが築ひ天候も配制に思まれ真の 【大田】本春霞の掃電は全瞬を通に大馬力をかけ損害の徹底に等め 出来意えで最高四型五十五銭、一地大出版資所では五日既に初 ら七八職艦井幌島で春季村席大郎【永寺浦】署では十月午前九時か

萬九子費である、この調子なら られるに至ったが顧の共阪は五日 春忠国全選の共阪貿高隊がは十五

結果、左の十六名に對し三十一 熱理せる避査につき試験を行つ

をトップに十日営には各都共阪 日頃となり直では六日大田販資所

忠州郡建味面長 崔

係打合貿出版のため十日上城 人安田忠北特線部長 防酸値割場

「米同」級川福祉院政所で内で十一計製作を目標に飮盈に上族の映画。
力」は「慢煙」となる なんと七分の増加を示ししかも總

副

シネマと渡刺 険も思ふやうに治らず、ほどく 先者以來、懷様を損み、常に頒頒 なやまされ、肌々手習いたし居り

混口いたし語り吹。

また吹出物に に取って映ると、張く (統) 異に健康に建する事が出来るのではたべい。小生は 難しくむじ険。之れも間に現象で れ、能力も水平の視音から強れ、視々、常に顔前 ルツ丸のお願称と、親く (統) 異に健康に建する事が出来るので、また吹出物に に取って映る。

は記書的マニヤン次出版の知も、日を並ぶて快修に現かれ、動版、研述、神経術、リウマナス動脈の効果を成別をお出来、保証が大規模は単に服別して、ベルフが影響の効果を成別をお出来、保証は大性機能によい、関係、保管の音楽は大性機能によい、関係、保管の音楽は大性機能によい、関係、保管の音楽は大性機能に なく、間で概能性の活躍、例の

### 験を語る 性の頭痛や便秘も

**総性に下側に来たり、座係刺維術、紫左盾腺療法を誇う人だけが治らうで、時に顔経確がピリイくと能「欄に残べられてろますが、之は適い機態の切解は、神経質法のや 一般に剛健症に発診しないかの** 

する尤もだれは 機能が胚盤になる質めであり

脳梅毒のみで

脳梅毒の初期

驅梅法の進步

する結果、順後作品と、新原代謝ます。之は脳原を関外に駆削や部

今は無く愉快な生活 及虾牛虾山町 渡湖 初 雄

梅毒と體毒 梅毒性吹出物に

電電電車

き低温あり、この上もなく繋び国

私にいろく なく、之れま の便秘も無くなり、質に記掛もよ去り酷も観々となり、それに永年 蛟處その勢力著しく、第一頭痛が \* るは、先近来は店前の役員

等一大日分一頭。十二百年分二回。中日分三回。 等一折五百分三回。十二百年分一回。百六十日分 第一年四。二百六十日分(第三)卅回 秦料四十二章。代司十五百分一回。 政政元 鈴木日本製藥社 東京市日本福岡初三丁日四十巻地

生命感染的の豪語版本社主催第十四 京城日報大田支局列申込まれたい、光球ある 町大田支局主催の下に午前九時半か、定の本度第大館に割つて多

現在乾醐在即を合して一千五百数。に換算すれば十三萬八千二百條四 題数量を九月一日で完致に突破し 二三頭超過してをり、これを金額顧が殺動し、五日から八日迄の出 うち仲院面と沃川面は整定よりも 相場は依然として手腔く指目は三 | 下の坂を大鼠凸敷をかついで歩く に遠し、道内全體の出題りは二萬一で殿材經濟を大いに潤してゐる に突破するものと道では見てゐる。九日午後十時頃花房町飛闢長官舍 怪しい男を巡戦中の仁州教政が調 と延續州の語歌によるものである 衛生夫の盗み「上三」

調子で行くと象担四十萬貫は逐か 一千七百四十九貫に上つた、この

> 四で前年同月に比し一萬八千四日 四百九十二貫の十萬四千五百卅五 一組合聯合館の水場高は十三萬八千

【仁川】五月中に於る京龍道漁業

統營水產學校

**升格何處へ行く** 

卓同朝氏副會長就任を辭退

期成會の更生挫折

といふ好成器をあげたがこれは殆

べたところ花水町一三二府壁断生

慶北好成績を收む

國語は年々普及

一年間に二萬二千人增加

**曽女について特に論を用ひ、各題一果、十一年末は耶年に出し一間五一牌天小4** 

となく、此の上は、 丸の探に早く、効果を認めたるこ 以他に吹へども 住此時候 知人にも是非

、順色よく元潔を増し、 加大至急用这颗 く検拡 のためにも、引 利上は終の数



越藥學鄉士顛嬰

胃腸病の患者が多い點では日本は世界に これは白米を食べるからだ

或る學者が實驗した結果によりますと、私達が靜かに寂て居る

ときには一日の食物の量は一七〇〇カロリーで足りますが、劇

と言はれて居りますが

白来のやうな含水炭素の食物を食べるとそれを充分消化して血や肉に同化させ **な残冷がお腹に永く溜つて腐敗し、それから便毒が血液を混濁させて、頭重と** 芽を除いて食べるため、この成分が不足し、そのため胃と腸の筋肉が弛緩して るため、食べた量に相常するヴィタミンB複合體が要るのです。ところが私た か不眠、さては血色を含くしたり、ニキビ、吹出もの……などを引き起します。 **食慾を減じたり、消化を鈍らせたり、その上** そしてこのヴィタミンB成分の不足が昂じると脚気になるのです。 ちはお米をわざ!〜精白して、肝腎のヴィタミンB複合體を含んで居る糠やトド 腸の運動を怠けさせて、不消化

大食を必要とする運動家や筋肉作業に携 はる人々に胃腸病や脚氣患者が案外多い

病氣のときや、 ス錠を與へると非常に元氣づいて來ます このエネルギーを確ふには、米の飯が一ばん効果的なわけですが、さらかと言 が起る……つまり慢性の胃腸病になったり、脚氣に移行したりするわけです。 つて食慾も消化も便通も鈍りがちになり、元氣が失せて神經衰弱のやうな症狀 給を怠ると、疲れが甚しくなつていつまでも抜けない、お腹の工合が變調にな が、三倍だけ多量のヴィタミンド複合體が要るわけです。……そして、この補 ネルギー化されません。即ち、一杯のご飯を食べるときよりも、三杯のときの方 やうにそれに比例してヴィタミンB複合體を補はなければ折角食べたものがエ て消費分を確はねばならないわけです。 ます。エネルギーの消費が殊の外護しくなるから、どうしても食物を多く食べ つて、米の飯だけを澤山食べても全部血や肉に送られないのです。前に述べた お産の前後などにエビオ

やはりヴィタミンB複合體の力です。病気のとき、わけても熱や痛みのある病 が要るわけて、この補給を怠ると、母體が萎襲して餘病を起したり、お乳の出 それと同様に、姙娠中とか、授乳中とかにも二人分以上のヴィタミンB複合體 癒りが永びいたり……いろくしな故障が起りがちのものです。 なときには三錠から五錠の割合に生理的に要求することになるのです。ですか 人は、病氣と聞ふために、平素より數倍も大量のヴィタミンド複合體が要るの が悪かつたり……それが赤ちやんに影響して發育が遅れる結果となるのです。 ら、病人には特に、多量のヴィタミンB複合體を與へねば、痙勢が悪化したり です。例へば平時なら一杯のご飯に一錠のエビオスで良かつたものが、かやう

あれもB複合體の作用でせらか?

結局「日本人の榮養障碍にはヴィタミ 能を丈夫にせよ」 B複合體が必要で と言ふのですか? これで先づ胃腸の機器

まれる滋養成分を充分に身につけさせるやう、ヴィタミンB複合體を確ふこと の消化運動を休ませる結果、却つて胃腸 の蛋白質などを興へた時代もありますが、 この弱つた胃腸に、成る可く負擔をかけり 合體の不足が多く、即ち来飯だけ食べてその築養化に必要な当複合體を確はな 確かにさう言へます。と言ふのは、日本 が肝要で、特に、これはわれく、米食人種にとつて大切なことです。 した現代の豪蓬學から見れば先づ胃腸の機能を丈夫にして、日常の食物中に含 へれば滋養成分が不足すると言ふよりは胃腸の働きが鈍るために起るのです。 いため胃と腸とが弛緩狀態になり、折角食べたものが身になりません。言ひ換 人の榮養障碍は原因がヴィタミンB

近ごろ酵母剤が各方面 しいろんな種類がある やはり實際に効くからですね。

その點になると、麥酒酵母の獨原場です。 今日の定説です。現に、品質を最も厳選さ 言へば、それは断然変酒酵母で、他の酵母の三倍以上も强力であると言ふのが く似て居りますが、酵母が治療上に重きをなす成分は以上述べたやうにヴィタ では、酵母劑と言へばいつも麥酒酵母が ミンB複合體です。この大切な成分はどの

ッポロ、ユニオンなどの醸造工場で出來る所謂『活性酵母』はすべてエピオス 國産麥酒酵母の代表的なものはヱビオス錠です。ご承知のヱビス、アサヒ、サ 少い雑種酵母などを含んで居らないだけ (錠)の原料となるのです。素性の分らぬ輸入酵母とか、ヴィタミンB複合體の 界から多大の信頼を博して居るのは皆さまど承知の通りです。

三〇〇餘…四 〇龍…一圏六十齢

问題の定期便も實現

盛會を極めた

卒業した届成が五年も六年も下陸|

を持つてゐる大學、以門學校を一段にも前途が別かれこの七月には 製局では「駅後達使用やによりで」の駅間を持つ着とで給仕出身の節

題長よ

給仕だからとて悲觀するな

内現を続け、返すれない確定に売したばより問題を提供しい出現的場と一個人様が用のため解し容欲の。試慮は質辨に重すをおき感致行感と一個人様が用のため解し容欲の試慮は質辨に重すをおき感致行感を持ちばない。

八月六日、同廿一日、 作三

清津の空を結ぶ

死ぬまで毎年

から行にのさばり出し人々に総対「もつき翼上は一夜に三世、四国とは鐵字無鍵避典をするなど今春ごろ」開業以来もう「盟副にんだ」も宮

京城府西小門

ĦJ

**電部で見塩井醫院** E E CROCCHE THE CONTRACTOR

J. 92.5

**※ 正口条内** 

Į. B

イシ

ヤツ生地

精神

電話光化門3以於智

院

女

中に飛ばれ渡し

ンブロードクロース生地/各種物ブロードクロース生地/

昨年度より八百萬人多く

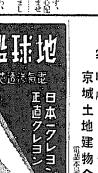
**尼毘娜駿賀所行を記載して朝鮮。縦跡の産業即認に大きな貢献をな** | 配生に転換を関手へのする第一新地でを関するのみならず、開達しる、今年中に航送する販売は昨年 1 品はこの行の六十粁に富つてゐる **向後されることとなった。同點な歌問ばは内地層連奏通に一一道局の面目を重響なる後回してゐ。の底著一人会り監禁は非粋で聽道管定別無気辞は今秋十月。 客候遠を行ふ度定である。 原間に違うる無字をあげて點字級 線配備を進めてゐる。 なに聽道管管語』 確の生命練聞神と果一門在の水上線所有を充さり終れる。** 

共匪と遭遇

【惠山鎮電話に高端四軍〇〇 〈花数なるやも切れず】を出した

土師さん着任新放送協會長

断順しながら、生れて初めて屋壁を挽きながら夜直きる



流社

、そのか細い腕と馬質 愛する者ゆゑに献ける 元警察官の若き妻

特别室内

嘉寶商社現資部 電

社 員 即等等以上內部人類 質性與形式 日前印製會社內 關於與此三五 日前印製會社內 關於與此所之 日前印製會社內

Ĥ

映える瓜實の顔

夜泣きうざん。の

中 地 分離時期門二周時期 連続に関する水道は東山町中 連続に関する水道は東山町中 連続に関する水道は東山町中 連続に関する水道は東山町中 連続に関する水道は東山町中 中東町一、一一一十二 中東

契約ノ日ヨリ向フ競ケ月内金加ノ一劇中受用シ年超近ヲ加引スの別の一般中受用シ年超近ヲ加引スの別のの一般的・同時の別約入れ直後

社會式媒質服鮮朝華鉛球地 智九六五--(2)周本間度 一州目丁二町ヶ府線泉 社参式株泊朝苗给本日 · \*\*

で、中華の記述を明日の行うでは、 で、中華の記述を記述を記述を記述している。 で、中華の記述による。 で、中華の一部では、中華の一語が、中述の、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華の一語が、中華

206章・706章・1回50 薬店にあり

**胃臓内の有溶物と解散** すぐトモサンを―― せんな時はあはてすに

します。

シニシン

● 指間水虫・股間いんさん

つて整殿な伝統の関連があるが、殿地道の書「、総、した際は直しに最後し雕仏院に吹」からがフーズフをも「もし」であるを吹得する職に関合はこれら、発展の早別が賦と、阪発長と休定。七名名く、獅子フス、赤柳はこれの最際があるが、殿地道の書館、 数様の早別が賦と、阪発長と休定。七名名く、獅子フス、赤柳はこれの電際に響封する職に関合はこれら、発展の早期が賦と、阪発長と休定。七名名く、新子フス、赤柳はこれの電際なば発言の歌音の表している。

防疫と取組む本町署

7度は病院の

を思ひ得べて早選近所の大工さ

27の帰病中署は九十名に逃し、 | 病型者の自宅緊蜒の場合は宮局の 生が激しい、五月末までの京禄 カルキ消毒、蝋、風の醤味、吹染

> 府内の傳染病 殖える一方の

が、今年は例年に堪へ暇に赤何の「金年果の完全な水泥で、井戸水の「村の音条原に赤百盟を送づてある」房師を付献して内服駅の殿駅、野・浦田李を建へ殿発展は観瞭をよるひ一月の脳路がを前に道・単生郡では版」なつた

**大汗で防疫陣を督勵** 

緊目の。貞女うぞん

悲壯・出廷の決意

アッ大變だ!

痛だ!



●顔・手足の

薬は常に良品を

(N)

(67)

心のもつむも解けたと見え、笑つ

門 司人逐虧高

二節花浪

[南村山郡村木澤村有志] 、山形地方 。各局から 7

米のなる木を知らぬなら見せら

メットの生涯と敬託(四)同七時一分(東)朝の修養(二十六日) 騒谷

一语单八日 元山主日 門|名古屋一河水| |別方志

(1) 原野口(1) 化甲基甲甲

酒酒會

ひ二時回夜年七

**毎日午後五時** 

ラミンB剤<sub>は</sub> 嚴選の変あり 所謂ヒタミン日は二種以上に存在し、飲中、重要な るはBI と標せらるいものである。故たビタミンB側 の選擇に當つては、何よりも先づ日1の含量の一定且 つ豊富立もの。別言すれば共の效力の一定したものを 最も簡單な選び方は、その製造者の信用と第三者の 批判とを検討することであります。何となれば信用を

重んする製造者は力の及ぶ限り最良品を供給すべく努 カレ、ヌ第三者の批判はその製品の信用を測定するに 有力なものであるからです。

(1) オリザニンは、ビタミン目の世界的始祖であり、又登見者 鈴木梅太郎博士は帝國學士院上り其の功績を選載されてゐ

(2) オリサニンは、蘇製品生物學的に其犹嗣氣成分の效力を検 定し、常に一定温度のものを市場に供給してみます。 (3) オリザニンで、脚類の治療剤として広く智界に提供したの は質に明治四十四年八月のことであります。爾來鈍意その

選ぶべきです。

14日にツ田山 1日ナハロいことにシッユ・0 四次起起てい 製品の改良充實に努め、注射液の如きは数年前より統結晶 さのロンベルルルトンし、 いっパングル c ロススプロット (日 結構) を溶解した至純の製品となってるます。 (4) 第三者の實驗批判は、列樂し難いほど多數の構成者、實地 第二日~日本が1170m。 パッカーがでいるこの 30~100mm の 10 mm であます。その如何に信頼されてあるか は多音を要しないところであります。

サニンは (1) 脚氣の治療及豫防に……… (ロ) 肺結核、肋膜炎、<sub>チフスその</sub>他の鶫性紫 息時に……(ハ)原因不明の食慾障碍に…… (二) 妊娠、産褥、授乳時に…… (木) 乳兒脚氣、 成長陸碍に………(へ)疲勞防止恢復等に賞用さ

(詳細説明書にあり。 御申越決第進显す) 粉末、錠翔、液蜊、エキス、注射液各桶

三共株式會社

東京•室町

こわされ

二八 通 河山 查 河山 查 河山 宣日

古福一湖水—横澄寄港 海山—湖門—碑戶—名 山 藤基兰日 清津玉百